

令和 6 年度 第 3 回金沢市交通まちづくり協議会

**令和7年3月26日
金沢市交通政策課**

会議次第

日時:令和7年3月26日(水)10時00分～11時30分

場所:金沢市役所第二本庁舎 3階 大研修室

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 題

(1)事務局報告事項

報告第1号 令和6年度事業報告

報告第2号 令和6年度収支決算見込

報告第3号 令和7年度の金沢市の取組等について ……【資料2】

} 【資料1】

(2)審議事項

議案第1号 令和7年度事業計画

議案第2号 令和7年度収支予算(案)

} 【資料3】

(3)石川県警察本部報告事項

報告第1号 バス専用レーンについて ……【資料4】

4. 閉 会

金沢市交通まちづくり協議会委員名簿

(敬称略)

役 職 名	委 員 名	備 考
金沢大学 融合研究域 融合科学系 教授	中山 晶一郎	副会長
金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 准教授	片桐 由希子	
国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所長	五十川 泰史	代理出席：建設専門官 安倍 良司
国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部 交通企画課長	新倉 孝礼	
国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局長	猿谷 克幸	
石川県 企画振興部 交通総合対策監	三林 直慶	代理出席：主事 松本 空人
石川県 土木部 次長	宮本 義浩	
石川県 警察本部 交通部 首席参事官	遠藤 英之	代理出席：交通規制課 次席 西村 泉
一般社団法人 石川県タクシー協会 専務理事	宮崎 芳信	欠席
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室長	鹿野 剛史	欠席
IRいしかわ鉄道株式会社 取締役総務企画部長	杉藤 信之	欠席
北陸鉄道株式会社 取締役自動車部長	高橋 航	
西日本ジェイアールバス株式会社 北陸支店長	大久保 範繁	
石川県私鉄バス労働組合協議会 議長	的場 達也	
金沢市町会連合会 副会長	外山 郁生	
金沢市校下婦人会連絡協議会 会長	能木場 由紀子	代理出席：副会長 前 千代子
一般社団法人 金沢経済同友会 副代表幹事	宮本 治郎	代理出席：事務局長 徳田 学
金沢商工会議所 女性会 直前会長	富久尾 佳枝	
株式会社金沢商業活性化センター 代表取締役	嶋浦 雄峰	
金沢市副市長	新保 博之	会長
金沢市 土木局長	木谷 哲	代理出席：道路建設課長 西村 和也

事務局 ： 金沢市都市政策局交通政策課

【資料 1】

報告第1号 令和6年度事業報告

1. 地域公共交通確保維持改善事業

地域公共交通バリア解消促進等事業（バリアフリー化設備等整備事業）

＜福祉タクシー導入＞ 計2台

- ・リフト付タクシー車両・・・なし
- ・スロープ付タクシー車両：北都交通株式会社・・・1台
石川近鉄タクシー株式会社・・・1台

＜バス停上屋整備＞

- ・北陸鉄道株式会社 「笠舞二丁目」バス停

交通サービスインバウンド対応支援事業

＜ノンステップバス導入＞ 計15台

- ・大型バス車両：北陸鉄道株式会社・・・7台
北鉄金沢バス株式会社・・・8台

2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

①金沢交通コンシェルジュの運営（金沢駅東広場交通案内所）

金沢駅東広場の案内所で交通案内や観光客等の問い合わせに対応する
交通コンシェルジュを配置

開設時間：9：00～17：00（うち1時間休憩）

休日：年中無休

人員：1人

【参考：案内件数実績】

	R 6 年度 ※	R 5 年度
案内件数	59,630	62,503
（うち外国人）	15,105	11,039

※ R 7 年 2 月現在



2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

②金沢まちなか交通ガイドの作成

従来通りの紙媒体での印刷に加え、金沢MaaS推進事業費として、金沢まちなか交通ガイドをより便利で使いやすくするため、日本語・英語に加え新たに繁体字等の6言語を追加でデジタル化し、紙媒体印刷を10%削減

言語	R 6 年度印刷部数	R 5 年度印刷部数
日本語	11,340	12,600
英語	11,340	12,600
中国語(繁体字)	6,300	7,000
中国語(簡体字)	1,800	2,000
韓国語	1,800	2,000
フランス語	2,700	3,000
スペイン語	2,700	3,000
イタリア語	900	1,000
タイ語	—	1,000



※タイ語は需要減のため廃止

2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

③カーフリーデー2024in金沢の開催

マイカーを使わない公共交通優先の社会形成を周知するイベントを開催

日時：令和6年10月5日(土)10:00～15:00

場所：市庁舎前広場

内容

バス、ユニバーサルデザインタクシーの展示

バス運転士体験

交通事業者の事業紹介、グッズ販売

自転車ルール・マナー啓発、保険加入促進

ミニSL乗車会

キッチンカー、移動図書館、モルック体験

※来場者数：約3,000人 (参考)令和5年度：約2,000人



～ヘルメット洗浄体験～



～自転車ルール・マナー啓発～



～ミニSL乗車会～

報告第2号 令和6年度収支決算見込

歳入の部

(単位: 円)

款	項	目	項目	現計予算額	決算額	差引	備考
1	1	1	負担金				
			交通事業者	1,524,000	1,524,000	0	・交通コンシェルジュ運営費 1,100,000 <内訳> 北陸鉄道 453,000 西日本ジェイアールバス 223,000 J R 西日本 106,000 I R いしかわ鉄道 106,000 金沢駅構内タクシー会 106,000 バス停留所連絡協議会 106,000 ・まちなか交通ガイド（日本語版）作成費 424,000 <内訳> 北陸鉄道(うちデジタル版保守負担1,000) 188,000 西日本ジェイアールバス(うちデジタル版保守負担1,000) 48,000 金沢 T MO(うちデジタル版保守負担1,000) 94,000 金沢駅構内タクシー会(うちデジタル版保守負担1,000) 94,000
			市	11,700,000	11,700,000	0	・交通コンシェルジュ運営費 5,800,000 ・まちなか交通ガイド（日本語版、外国語版）作成費 4,000,000 ・カーフリーデー2024in金沢開催費 1,900,000
2	1	1	補助金				
			国	0	2,165,000	2,165,000	・地域運営交通（チョイソコ） 2,165,000
合 計				13,224,000	15,389,000	2,165,000	

歳出の部

(単位：円)

款	項	目	項目	現計予算額	決算額	差引	備考
2	1	1	事業費				
			交通コンシェルジュ運営費	6,900,000	6,900,000	0	
			まちなか交通ガイド作成費	4,424,000	4,424,000	0	
			カーフリーデー2024in金沢開催費	1,900,000	1,900,000	0	
			地域運営交通支援助成金	0	2,165,000	2,165,000	
合 計				13,224,000	15,389,000	2,165,000	

【資料 2】

報告第 3 号 令和 7 年度 of 金沢市の取組等について

第3次金沢交通戦略が目指す「歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり」
「交通から暮らしの質やまちの魅力を高めるまちづくり」の実現に向け、
以下の施策を実施（抜粋）

第3次金沢交通戦略が目指す姿

〔基本的な考え方〕

歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり

交通から暮らしの質やまちの魅力を高めるまちづくり

郊外

地域の実情に合わせた柔軟な移動手段の確保

- 地域運営交通を使って、住民が地域の病院・スーパーに自家用車なしでも行ける
- 地域運営交通と公共交通重要路線の鉄道・バスが、モビリティハブで接続し、まちなかにも便利に行ける
- MaaSにより乗り換えもスムーズ



まちなか

歴史や文化などの魅力が楽しめる人中心の移動環境の充実

- トータルデザインされた新しい交通システム(第1段階)を都心軸中心に導入
- 人中心のウォーカブルな空間の整備
- 自転車走行指導帯やまちのりの充実
- 来訪者等にも分かりやすい案内や機能でラクラク移動



居住誘導区域

公共交通で便利に移動ができる移動環境の充実

- 専用レーンによりバスの移動をスムーズに
- モビリティハブによる交通連携
- MaaSによりスムーズにバス・まちのりなどを利用

Mobility Hub

さまざまな交通手段が集約した利用拠点



■第3次金沢交通戦略の施策体系

基本的な
考え方

歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり
交通から暮らしの質やまちの魅力を高めるまちづくり

拡充

新規

実現に向けた施策展開

〔基本方針〕

1. 持続可能な交通ネットワークの形成 ～地域の実情に応じた公共交通の充実～

2. 交通機能の連携強化 ～便利で円滑な交通の実現～

3. 交通利用環境の向上 ～快適で安全な利用環境づくり～

4. 人が中心となるまちなかの形成 ～歴史と文化が薫る歩きたくなる空間づくり～

5. 交通行動の転換 ～公共交通の利用促進と普及啓発～

メリハリをつけて計画を推進

〔重点的な取組〕

- ・ハード・ソフト両面からの連携を強化することで、地域に応じた移動手段を充実
- ・公共交通の利用促進と普及啓発を強化

新しい交通システム
(第1段階)の整備
※バスのサービス水準向上

地域住民による
移動手段の充実
(地域運営交通)

公共シェアサイクル
「まちのり」
の充実

金沢 MaaS
の推進

モビリティハブ
の整備

1. 改 金沢 M a a S 推進事業費 20,200 千円

多様な移動手段と他分野のサービスが継ぎ目なく提供される金沢 MaaS を推進

新 交通サービスアプリ「のりまっし金沢」に「まちなり」の 1 日パス購入機能を追加

新 交通サービスアプリへの広域交通サービスの実装化に向けて調査検討

2. 改 公共交通サービス高度化推進事業費 13,300 千円

まちの拠点性を高め、人の交流を促す公共交通サービス高度化実施計画を実践

新 都心軸でのバスレーン社会実験に併せ、新たな荷捌き路線・駐車場の設置を検討

3. 新 連節バス導入環境整備事業費 8,200 千円

路線バスの持続可能性を確保するため、連節バスの導入に向けた道路などの
走行環境の整備に着手

平和町線など

令和 9 年度以降実証運行開始（予定）

4. 新 金沢版モビリティハブ整備事業費 31,100千円

様々な交通手段を組み合わせ利便性の向上を図る交通結節点の機能強化
に向けた整備に着手

デジタルサイネージ等の整備に対し支援 … 香林坊（アトリオ前）・金石バス停
パーク・アンド・ライドの社会実験を実施 … 石川線乙丸駅

額乙丸パーク・アンド・ライド社会実験

北陸鉄道石川線・乙丸駅（額乙丸町）にてパーク・アンド・ライドの社会実験を実施し、
モビリティハブの追加候補地としての可能性を検証

実証実験期間：令和7年6月～令和8年2月（予定）

借地面積：約350㎡（概ね10台分）

事業費：2,500千円

（内訳）借地料、安全柵の設置・撤去、看板の設置・撤去、広報費

※国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通再構築調査事業）
を活用予定

5. 改 金沢ふらっとバス電動化事業費 54,700千円

まちなかにおける環境配慮型モビリティとして、ふらっとバスにE Vバスを導入
新 此花ルートに追加導入

6. 新 北陸鉄道線鉄道事業再構築事業費 393,000千円

北陸鉄道線の再構築に向けて、施設更新や維持管理等を国や県、沿線市町で支援
鉄道施設等の更新整備に係る負担割合

線路・電路等更新 国1/2、県1/4、市町1/4

車両更新等 国1/2、県1/6、市町1/3

鉄道施設等の維持管理に係る負担割合

線路・電路修繕 県1/3、市町2/3

車両維持等 北陸鉄道と市町で負担

7. 新 バス運転士確保支援事業費 2,000千円

路線バスの運転士確保に向けて、交通事業者による就職フェア等への出展を支援

補助率 1/2

限度額 県内開催 300千円

県外開催 400千円

8. 改 地域運営交通支援費 38,900千円

郊外部の移動手段を確保するため、住民主体で運営するバス等の運行を支援
本格運行に係る経費と収入の差額に対し助成

補助率 世帯数に応じて6/10～8/10

(重点区域加算)

バス路線の便数が少ない地区におけるバス等の運行に対し、補助率を1/10加算

公共交通重要路線に接続するバス等の運行に対し、補助率を1/10加算

改 試験運行の補助限度額を引き上げ

新 運行方法等を見直した場合の再試験運行を支援

新 大野地区のAIデマンド交通試験運行を支援

運行計画の策定や試験運行を支援 など

9. モビリティ・マネジメント推進費 2,200千円

第3次金沢交通戦略のめざす「歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくり」を
広く市民に発信

公共交通利用促進啓発イベントの開催

10. 改 大学生モビリティマネジメント事業費 2,600千円

学生の公共交通利用とまちなかへの来街を促進

新 学生による円滑なまちのりの運営サポートに向けて、支援システムを構築

新 金沢美術工芸大学と連携し、公共交通利用促進に繋がるイメージデザインを制作

11. 新 第3期「まちのり」運営費 27,800千円

市民や来街者に便利で利用しやすい公共シェアサイクル「まちのり」を運営

第3期「まちのり」の運営を開始（令和7年4月）

電動アシスト自転車500台→720台

24時間利用可

ポート約70か所 → 約100か所

【資料 3】

議案第 1 号 令和 7 年度事業計画

1. 地域公共交通確保維持改善事業

地域公共交通バリア解消促進等事業（バリアフリー化設備等整備事業）

＜ユニバーサルデザイン型タクシー・福祉タクシー等導入＞

導入については調整中

（国の要望調査状況に合わせ、計画承認について別途お諮りします）

※交通事業者が国へ補助申請する際には、本協議会での計画承認が必要

2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

①金沢交通コンシェルジュの運営（金沢駅東広場交通案内所）

金沢駅東広場の案内所で交通案内や観光客等の問い合わせに対応する
交通コンシェルジュを配置

開設時間：9：00～17：00（うち1時間休憩）

休 日：年中無休

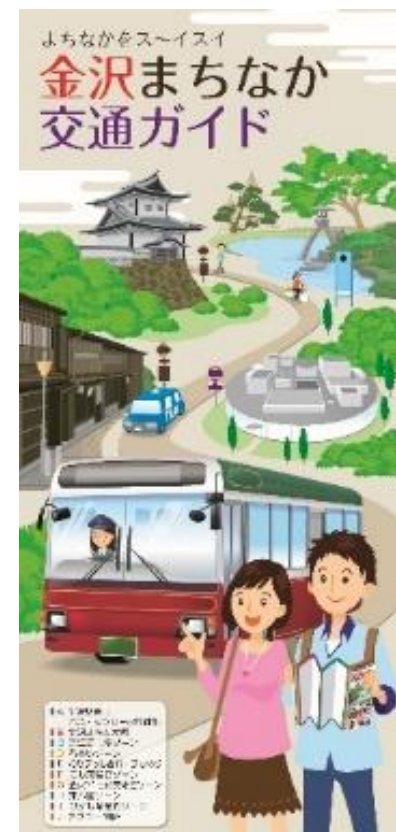
人 員：1人

2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

②金沢まちなか交通ガイドの作成

外国人観光客への 2 次交通案内の充実を図るため、8 言語の「金沢まちなか交通ガイド」を印刷する。

言語	R 7 年度印刷部数	R 6 年度印刷部数
日本語	7,940	11,340
英語	9,556	11,340
中国語(繁体字)	5,040	6,300
中国語(簡体字)	1,440	1,800
韓国語	1,440	1,800
フランス語	2,160	2,700
スペイン語	2,160	2,700
イタリア語	720	900



2. 金沢市交通まちづくり協議会執行事業

③カーフリーデー2025in金沢の開催

マイカーを使わない公共交通優先の社会形成を周知するイベントを開催

日時：令和7年10月頃（予定）

場所：市庁舎前広場

内容：交通事業者、市民団体等の出展

交通施策紹介

スタンプラリー

公共交通利用促進PR大使ミニライブ開催 等

※調整により内容が変更となる場合があります

議案第 2 号 令和 7 年度収支予算（案）

歳入の部

（単位：円）

款	項	目	項目	予算額	備考	(参考)前年度
1	1	1	負担金			
			交通事業者	1,441,000	・ 交通コンシェルジュ運営費 1,100,000 <内訳> 北陸鉄道 453,000 西日本ジェイアールバス 223,000 ＪＲ西日本 106,000 ＩＲいしかわ鉄道 106,000 金沢駅構内タクシー会 106,000 バス停留所連絡協議会 106,000 ・ まちなか交通ガイド（日本語版）作成費 341,000 <内訳> 北陸鉄道（デジタル版保守負担含む） 226,000 西日本ジェイアールバス（デジタル版保守負担含む） 39,000 金沢駅構内タクシー会（デジタル版保守負担含む） 76,000	1,100,000
			市	11,750,000	・ 交通コンシェルジュ運営費 5,800,000 ・ まちなか交通ガイド（日本語版、外国語版）作成費 3,800,000 ・ カーフリーデー2025in金沢開催費 2,150,000	5,800,000 4,000,000 1,900,000
合 計				13,191,000		13,224,000

歳出の部

（単位：円）

款	項	目	項目	予算額	備考	(参考)前年度
2	1	1	事業費		<内訳>	
			交通コンシェルジュ運営費	6,900,000	交通事業者	1,100,000
					市	5,800,000
			まちなか交通ガイド作成費	4,141,000	<内訳>	
					交通事業者	341,000
					市	4,000,000
			カーフリーデー2025in金沢開催費	2,150,000	市	1,900,000
			合 計	13,191,000		13,224,000

【資料 4】

報告第 1 号 バス専用レーンについて



バス専用レーン

バス専用レーンとは
路線バスなどの指定車両※以外は
走行してはいけない車線です。
同時に駐停車も禁止です。

※全てのバス、実車タクシー、4人以上乗車の自動車、自動二輪

都心軸（野町広小路～香林坊～武蔵）における バス専用レーン

	朝	夕	
	7:30～9:00	15:00～17:00	17:00～19:00
平日		規制なし	
土日祝	規制なし		



バス専用レーンを実施する時間帯

終日		0:00～24:00
平日の朝		7:30～9:00
全日の夕		平日 17:00～19:00
(武蔵～野町広小路)		土日祝 15:00～19:00
平日の夕		17:00～18:30
交差点名		

